



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社Kaizen Platform
代表者名 代表取締役執行役員 CEO 須藤 憲司
(コード: 4170、東証グロース)
問合せ先 執行役員 朝井 秀尚
(ir@kaizenplatform.com)

通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表しました2025年12月期(2025年1月1日~2025年12月31日)の連結業績予想と実績に下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 2025年12月期の連結業績予想数値と実績の差異(2025年1月1日~2025年12月31日)

単位: 百万円

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は純 損失(△)	1株当たり 当期純利益又 は純損失(△)
前回発表予想 (A)	4,550	230	10	0	△30	△1円77銭
実績 (B)	4,354	109	29	38	29	1円75銭
増減額 (B - A)	△195	△120	19	38	59	—
増減率 (%)	4.3	△52.3	192.0	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	4,523	229	△28	6	△171	△10円17銭

2. 差異の理由

売上高については、クラウドセグメントにおいては増収となったものの、プロフェッショナルセグメントにおいて、大手顧客への注力により、顧客単価は向上したものの、取引アカウント数が減少し、4,354百万円と前回発表予想を下回りました。

EBITDAについては、減価償却費の減少、貸倒引当金の戻入等により、前回発表予想を下回る109百万円となりました。

営業利益については、減価償却費の減少による売上総利益率の向上、人件費のコントロール等による販管費の減少により、前回発表予想を上回る29百万円となりました。

経常利益については、受取利息18百万円、投資事業組合運用益6百万円の計上等により、前回発表予想を上回る38百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、主に上記記載の売上高、営業利益、経常利益の差異の結果及び法人税等の減少、法人税等調整額△5百万円の計上により、前回発表予想を上回る29百万円となりました。

以上